



全力あそびが未来を育む！

前回（8月1日発行）から市議会だよりの配布先が増えました。

※市議会のホームページからご覧いただけます。ぜひご活用ください。

○主な配布先のご紹介

市役所駅前庁舎・朝日庁舎、図書館、各公民館、市民体育館、市民活動支援センター、産業・創業支援センター、道の駅（木更津うまくだの里）、イオンモール木更津など

※配送状況により1日からの配布ができない場合があります。



こちらのQRコードから市議会のホームページが閲覧できます。

木更津市議会

検索

令和7年度当初予算
計581億220万円

3月定例会
+2億4,321万5千円
計583億6,521万5千円

6月定例会
+3億2,705万円
計586億9,226万5千円

9月定例会
+5億8,699万3千円
計592億7,925万8千円

集会用共同施設整備事業費

347万6千円

貝渚区集会場（老朽化した市の施設）については、耐震性能不足が判明し、また、空調設備も故障している状況です。今後の対応を、市及び集会場を利用している4つの自治会で協議を行った結果、期間限定で貸与することとなり、市が耐震補強工事等を実施します。

Q 具体的な工事内容は

A 2つの工事を予定している。1つ目は、耐震性能不足解消のための補強工事を実施する。2つ目は、会議室の空調が故障しているため、空調設備の入替え工事を実施する。

※市が自治会に貸与している施設は3施設あります。

(市 347万6千円)

地域介護・福祉空間整備等補助金

2,312万9千円

災害時に空調や介護・医療機器等が使えなくなることで入所者の生命に危険が及ぶ事態を防ぐことを目的に、高齢者施設が実施する非常用自家発電設備工事に對して補助金を交付します。

Q 今年度の対象施設は

A 申請のあった「特別養護老人ホーム請西苑」と「フォレストヒル（認知症高齢者グループホーム）」である。

(国 2,312万9千円)

車両購入費 1,791万4千円

①今年度に購入予定であった、「天蓋付き4tダンプ車（破碎粗大ごみ（可燃）、汚泥運搬）」の入札不調及び価格上昇、②令和8年度に購入予定の「4tパッカー車」を納期の都合上、予算措置する必要が生じたことから、購入経費を増額・計上します。

Q 車両の買い替えではなく、新規に2台を購入するということか

A 現状の9台に加えて、新規に2台購入する。

(市 1,791万4千円)

中学校施設老朽化等改修事業費

1,198万8千円

清川中学校において、圧密沈下などの影響により、校舎及び屋内運動場下で20cm程度の空洞が確認されていることから、充填方法の検討に必要な経費を計上します。

Q 今後、空洞が広がってしまうなどの心配はないか

A 現在、圧密沈下は収束している。空洞対策を実施することにより、建物の安全は確保できると考えている。

(市 1,198万8千円)

耕作放棄地再生推進事業費 39万円

耕作放棄地の再生に取り組む農業者に対して支援するものであり、新たに要望があった農業者に対して支援するための経費を計上します。

Q いくつの農業者が実施するのか

A 2農業形態が実施する。

Q 1人の方が2箇所の申請はできるのか

A 異なる農地であれば可能である。

(市 39万円)

小学校管理用備品購入費 150万円

金田小学校の学校教育発展のために150万円の寄附をいただいたため、備品を購入します。

Q 当初予定していた備品購入の費用にあててるのか

A もともと購入する予定だった備品には使用せず、新たに教育発展のために必要な備品を購入する予定である。

(寄附金150万円)

応急災害復旧事業費（農林水産施設） 6,155万円

応急災害復旧事業費（公共土木施設） 4,333万円

今年の台風15号（9月）の大雨により被災した道路や河川などの復旧を行うために必要な経費を計上します。

Q 被災箇所の選定はどのように行ったのか

A 市職員による現地確認、及び、地元の方々からいただいた要望をもとに選定をした。

(農林水産施設 市6,155万円 公共土木施設 市4,333万円)

令和6年度決算の認定

一般会計

歳入 558億 460万9,942円

歳出 530億7,594万3,360円

差引額 27億2,866万6,582円

差引額内訳

翌年度実施すべき事業分の繰越額

11億4,166万6,430円

地方自治法に基づく基金繰入額

12億8,700万 152円

翌年度への繰越額

3億円

事業の成果は？ 今後は？ 暮らしは？

決算審査特別委員会では、一般会計と4つの特別会計及び下水道事業会計の決算書類審査を4日間実施し、執行部の説明を求め、質疑を行うとともに、事業に関する改善要望等を行いました。（質疑882件、要望23件）

また、書類だけでは分からない事業の実施状況や成果を直接確認するために、現地調査を行いました。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金

65万5,940円

Q 予算に対して支出済額が大幅に少ないが、この原因は

A 令和6年10月に開始した新規事業であり、申請者数の推定が困難であったため。

Q 学生など、通学用ヘルメットの購入にも利用できるのか

A 要件を満たしていれば、利用可能である。学校の入学説明会等で周知を図っていく。

車両管理費（消防費） 1,241万3,203円

Q 消防車両・救急車両のガソリンの消費量が減少したとのことだが、その理由は

A 出動回数が前年より、約500件減少したため。

Q 出動回数が減少した理由は

A 救急車の適正利用を促す広報やパンフレットなどを配布し、周知を図ったこと。また、頻繁に通報される方に対し、警察など関係機関に相談をし、本人に理解をしてもらうなどの取組を行ったためと考える。

生活保護事業費 29億5,057万4,482円

Q 外国人が生活保護を受ける場合、優遇措置はあるのか

A 優遇されることはない。

Q 生活保護を受けている外国人の割合は

A 令和7年9月1日現在、本市の人口13万6,622人のうち外国人は3,781人である。外国人のうち45人（2.75%）が生活保護を受けている。

救急救助資機材購入費 499万9,830円

Q 何体の高度シミュレーター人形を所有しているか

A 3体である。各署ローテーションで訓練を実施している。

Q 分娩助産人形を新規で購入したとのことだが、これまで、救急隊員が分娩等に携わったことはあるか

A 自宅での出産に救急隊が立ち会い、無事に取り上げたケースがある。今回購入した分娩助産人形には胎児人形も付属している。

体育施設整備事業費 295万9,000円

Q 江川総合運動場の案内看板は、どこに設置したのか

A 中央分離帯に設置をした。

Q なぜ、その場所なのか

A 歩道地下の浅い位置にボックスカルバート（コンクリートの構造物）があり、看板基礎の十分な深さが確保できなかったため。

廃船処理助成事業費 198万2,000円

Q 残っている廃船の数は

A 残り260隻である。

Q いつまでかかる見込みか

A 年間100隻の撤去を予定しており、令和10年度で完了する見込みである。



水槽付消防ポンプ自動車

決算審査特別委員会 ◎委員長 ○副委員長

◎渡辺 厚子 ○永原 利浩 吉田眞紀人
吾津松太郎 藤田 真澄 安藤 順子
佐藤 修一 堀切 俊一 石井 徳亮
竹内 伸江 重城 正義 鶴岡 大治



建て替えを行った
地域子育てセンター
ゆりかもめ東清分館



波岡中学校の改修



令和7年9月定例会で審議された議案等を公開しています。

議案審議

何が変わる？ 仕組みが変わる！ 暮らしが変わる！

議案第50号 専決処分の承認を求めることについて

木更津市郷土博物館「金のすず」における著作権侵害について

木更津市郷土博物館「金のすず」において、著作権者の許可を得ずに図を改変して使用し、氏名表示を行わなかった件について、市は著作権及び著作者人格権を侵害したことを認め、相手方に謝罪した。

市は、関連書籍「金鈴塚古墳出土品ガイドブック 煌めく金鈴塚」の販売停止と在庫廃棄、館内での図の展示停止を行うとともに、この件に関して相手方との間で債権債務が発生しないことを確認し、和解した。

【経緯】

- ①掲載した図で著作権侵害が発生
 - ②市が認め、相手方に謝罪
 - ③販売停止と在庫廃棄を実施
 - ④郷土博物館「金のすず」での展示を停止
 - ⑤市ホームページで著作権法上の問題を告知
 - ⑥相手側と今後債権債務を持たないことを確認・解決
- ※著作権法とは、作品を作った人の権利を守る法律

議案第57号 木更津市子ども未来創造教育振興基金条例の制定について

子どもたちへの教育にかかる、施策と教育振興に充てるための基金を創設します

木更津の未来を担う子どもたちへの教育にかかる、様々な施策を推進し、教育の振興を図るための事業に使用する財源に充てるため、「木更津市子ども未来創造教育振興基金」を新たに創設します。

基金に積み立てる額は、令和7年3月に、鈴木孝行氏から寄附のあった一億円となります。

寄附者からは、困っている人たちなど「行き届かないところ」に寄附を活用して欲しいとの思いが示されているため、寄附者の意向を踏まえて、学校教育振興等こどもの未来のために活用します。



議案第58号 木更津市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

通勤に係る高速自動車国道等の有料道路の利用に係る料金を費用弁償として支給できるよう条例を整備

職務の特殊性を考慮し、人材の安定的な確保を図るための整備。当該額は、通勤に係る有料道路料金、時間、距離等の事情に照らし、最も経済的かつ合理的な経路により算出。

現在、対象となる職種と人数は

夜間急病診療所の医師41名のうち14名。

上限は設けているが

現在、公共交通機関は全額を支給、ガソリン代相当分は距離に応じて支給している。有料道路料金を支給する職員は、主に東京都と神奈川県から通勤しており、不足がないように対応する予定。

職務の特殊性について、今後の想定は

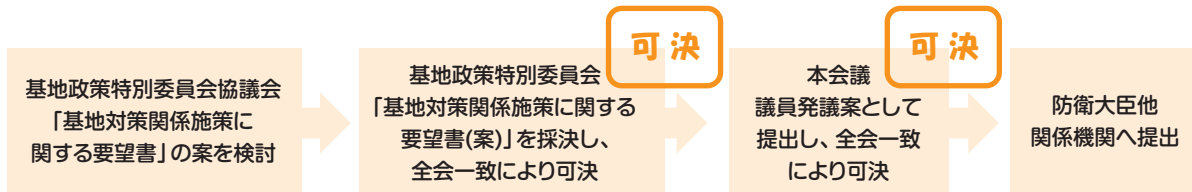
現状では公共交通機関が稼働していない夜間の対応として考えているため、今のところはなし。

具体的ルールは規則で定める。

発議案

発議案第5号 基地対策関係施策に関する要望書について

基地政策特別委員会で取りまとめた意見書を、地方自治法第99条の規定により、関係機関へ提出しようとするものであり、本会議にて全会一致により可決されました。



要望書の提出

基地対策関係施策に関する要望書について、9月定例会最終日の9月26日に発議案を審議し、可決されたため、10月6日に防衛大臣他、関係機関へ提出しました。

要望事項

1. 議会並びに木更津駐屯地に関する協議会に対して、情報提供を直接、適切かつ速やかに行い、諸課題の解決を図ること
2. オスプレイに関する覚書等を遵守すること
3. 日米オスプレイをはじめ全ての航空機の運用に際し安全対策を徹底すること
4. 基地周辺対策経費を確保すること
5. 基地周辺地域の生活環境の維持向上に努めること
6. 地域との共生に努め防災や産業活性化に寄与すること



北関東防衛局長へ要望書を提出



発議案第5号をご覧ください。

委員会の行政視察

交通政策特別委員会

令和7年7月7日

・袖ヶ浦市「デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコがうら」」

袖ヶ浦市における「チョイソコがうら」の導入は、公共交通の満足度の低さや運転手不足といった課題に対応するものであり、近隣市であることから非常に身近に感じられる事例でありました。地区ごとの本格運行の検討や、地域住民との協議による停留所の設置など、地域に根ざした運営がされており、今後の本市における公共交通施策の検討にあたり、具体的な制度運用や地域との連携の在り方を学ぶ貴重な機会となりました。



袖ヶ浦市での視察の様子

賛否のわかれた議案等をお知らせします

他14件の議案等は、原案のとおり全会一致で可決しました。



討議の録画中継

討論の様子は録画中継で公開しています。(9月26日(金))

番号	件名	議決結果	吉田眞紀人	吾津松太郎	藤田晃治	重信真澄	安藤順子	齊藤秀樹	佐藤修一	神蔵五月	堀切俊一	石井徳亮	竹内伸江	重城正義	永原利浩	座親政彦	渡辺厚子	田中紀子	鶴岡大治	近藤忍	大野俊幸	斉藤高根	三上和俊	草刈慎祐
議案第54号	令和6年度木更津市歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※表の見方

○:賛成

●:反対

―:議長のため採決に加わっていません

議員が聞いた! 今とこれから 代表質問

紙面の都合上、質問議員が大項目1点を
選び、質問と答弁を掲載しています。

9月定例会では、会派の代表4人が大項目17点、
小項目80点にわたり、代表質問を行いました。

質問議員
顔写真下
QRコード

質問議員の録画中継

質問議員の録画中継を公開
しています。

羅針盤代表

鶴岡 大治 議員

令和8年度

やっさいもつさいの

東口開催等の要望について



問 8月28日に東口で活動して

いる4団体から要望書が提出さ
れた。要望は3点であり、1点
目は木更津駅を中心とした駅東
西の均衡ある発展を望むもので
あり、木更津市の施策の多くが
西口開催であることに一定の理
解を示すとともに、東口に施策
の増加を望むもの。2点目は東
口を利用する市民や、中高生の
滞留スペースの拡充を求めるも
の。3点目は令和8年度開庁す
る朝日庁舎を駅東西の市民と共
に祝うため令和8年度は、やっ
さいもつさいを、東口での開催
を要望している。東口では駅周
辺に高層建築物が建築され、人
口増となったが自治会加入率や
自治会活動への参加も低下して
いるという。まさに新旧住民

の融和が喫緊の課題であるとの
こと。東口の主たる町内会と商
店街の要望は極めて重いものが
あると思う。見解を伺う

答 木更津港まつりは木更津港
開発に尽力された先駆者の霊を
慰めこの港を広く内外に紹介し
木更津港の振興、上総地域の経
済の発展、住民の連帯意識の高
揚を図るものである。これを構
成する、やっさいもつさい踊りの
東口開催については、参加者及
び観覧者の安全確保を最優先に
検討する必要がある。今後
の実行委員会
の中で実現の
可能性を検討
していく。

令和7年8月22日に
要望書を提出した団体
◎木更津東部商店街振興組合
◎木更津一番街商店街振興会
◎大和町親交会
◎稲荷町区

自由民主クラブ代表

斉藤 高根 議員

木更津市の将来像について



問 中野畑沢線の整備状況は

答 県で中野工区を、市で桜井
工区を整備している。中野工区
は、令和3年度から浮戸川に架
かる橋梁工事に着手し、橋台・
橋脚等の下部工が全て完了して
いる。現在は、上部工を施工し
ている。桜井工区は、令和5年
度より工事に着手し、雨水排水
の下流部にあたる放流渠工事
が完了している。現在は、調整
池の築造工事及び道路本線の伐
採・伐根作業を進めている。

は

答 千束台と請西東をつなぐ区
間について、平成28年に、県道
木更津末吉線として県が整備す
ることとなった。県では令和5
年度に、道路詳細設計の修正を
行い、現在は埋蔵文化財調査な
どの諸手続きを進めている。市
では平成29年に県から委託を受
け、用地交渉を実施している。

問 用地交渉の状況は

答 令和4年度から6年度まで
は、県の設計見直しのため用地
交渉を中断
していたが、
今年度から
再開をする。
用地取得率
は5.1%であ
る。

問 中野工区の道路部分のスケ
ジュールは、これまでと変わ
り

ないか

答 これまでと変わらず、事業
施行期間は令和10年度までであ
る。

問 鎌足木更津港線の整備状況



中野畑沢線の浮戸川にかかる橋脚

◆ 一般質問とは、議員が市の事務の状況や今後の方針などを問いただし、市民のための適切な市政運営が行われているかをチェックするものです。9月、3月定例会では、議員個人による質問に加え、会派の代表による代表質問も実施しています。



本会議の中継

本会議の様子を生中継(当日のみ)、録画中継で公開しています。



議員の情報

連絡先等を公開しています。

誰もが安心して自分らしく
活躍できる社会の実現へ

公明党代表

神蔵 五月 議員
かみくら さつき



問 介護離職を防ぐために、また、遠距離で介護を担う方へどのような支援があるのか

答 同居していない家族介護者の負担を軽減し、高齢者が安心して生活できるよう、地域力を生かした見守り活動サービスの充実を図っている。現在、テレワーク導入など事業者の雇用環境整備の努力義務化が進められていることから、介護事業所等を通じて、家族介護者へ制度の周知を行っている。

問 介護認定に至るまでの間、介護保険対象外の軽度の支援やその間をつなぐサポートが求められている。シニア版ファミサポのような仕組みを構築する必要があると考えるが、見解を伺う

答 介護認定に至るまでの間、介護保険対象外の軽度の支援やその間をつなぐサポートが求められている。シニア版ファミサポのような仕組みを構築する必要があると考えるが、見解を伺う

問 介護認定に至るまでの間、介護保険対象外の軽度の支援やその間をつなぐサポートが求められている。シニア版ファミサポのような仕組みを構築する必要があると考えるが、見解を伺う

答 地域の方々が相互に助け合う「おたがいさまの地域づくり」を進めており、この活動が広域的に広まるよう取り組んでいる。

問 介護事業所の休廃止には人材不足が要因となっているが、人材確保のプラットフォームが有効ではないかと考えるが、見解を伺う

答 県において介護事業者と地域住民をつなぐプラットフォームが導入されたことから、本市としても活用に向けた検討を進めていく。今後の実行委員会の中で実現の可能性を検討していく。

答 県において介護事業者と地域住民をつなぐプラットフォームが導入されたことから、本市としても活用に向けた検討を進めていく。今後の実行委員会の中で実現の可能性を検討していく。



新栄会代表

松井 晃治 議員
まつい こうじ

人生100年時代
感覚刺激で健康寿命の延伸を



問 人生100年時代を見据え、健康寿命の延伸が重要であり、高齢者の転倒は骨折や寝たきり、要介護につながる要因の一つである。体幹機能やバランス能力の低下を防ぐ取組が必要か伺う

答 体力測定や健康講座を実施し、市民が体力や健康状態を把握できる機会を提供、転倒予防や体幹機能の維持につなげていく。また二コーススポーツの体験会を開催し、新たな運動機会の創出についても検討していく。

問 転倒予防は要介護化を防ぐ大きなカギであり、健康寿命の延伸に直結する。足底感覚刺激を含む日常の感覚刺激を取り入れる事で、外出や社会参加が促され、人との関わりによって脳

答 転倒予防は要介護化を防ぐ大きなカギであり、健康寿命の延伸に直結する。足底感覚刺激を含む日常の感覚刺激を取り入れる事で、外出や社会参加が促され、人との関わりによって脳



不安定な石の上を歩くことで、平らな地面では得られない足底感覚の刺激を得ることができます。予測できない足底の圧力変化が自然にバランス機能を高め、転倒予防につながります。

答 転倒予防を受けた認知機能の維持・向上にもつながる。感覚刺激は転倒予防だけでなく、フレイル対策や認知症予防とも深く連動している。市の施策の中で、こうした多角的な視点をどのように位置づけるのか伺う

答 転倒予防を通じた健康寿命延伸は重要な課題であり、感覚刺激によるアプローチも要素と認識している。今後は体力年齢や足腰の状態を考慮し厚生労働省の推奨プログラムを基に施策を展開していく。

議員が聞いた! 今とこれから 一般質問

9月定例会では、個人12人が大項目31点、小項目162点にわたり、一般質問を行いました。



一般質問の全文(会議録)

令和7年9月定例会の会議録は令和7年11月下旬に公開予定です。また、図書館、各公民館でも閲覧することができます。



一般質問資料

議員が一般質問する際に使用した資料を公開しています。
公開期間：次の議会が始まる前日まで

問 今後の対応は

答 新たにコンビニやドラッグストア、農協など、市民の皆様が気軽に立ち寄れる配架先を順次拡大する。新たに、送料を市民に負担いただき郵送するサービスを開始する。



ポスティング終了に伴う代替措置

広報紙のポスティング終了
今後の対応について伺う



佐藤 修一 議員



問 窓口での会話の聞き取りが難しい方のために、「軟骨伝導イヤホン」という新しい音声伝達技術が注目されている。朝日新庁舎の供用開始と同時に導入を全庁的に検討する考えは

答 「軟骨伝導イヤホン」は音漏れが少なく小さな声でも聞き取りやすいため、個人情報保護や相談環境の向上に役立ち、行政機関での導入が進んでいると認識している。

「聞こえ」に不安がある方を含め、誰もが安心して手続きできる環境の整備は重要であり、導入済機関の利用実態を調査しながら導入を検討していく考えである。

「軟骨伝導イヤホン」とは従来の「空気伝導」や「骨伝導」とは異なる、耳の軟骨を通して音を伝える技術を用いたイヤホンです。耳の穴(外耳道)をふさがず、耳の周辺にある軟骨部分にイヤホンを接触させて音を伝えるため、外の音も聞こえやすく、安全性と快適性を両立しています。骨伝導イヤホンよりも軽快な装着感で振動が少なく、長時間の使用でも疲れにくいとされています。耳の中に差し込まないため、清潔に使え、市役所の窓口サービスに非常に適しています。

軟骨伝導イヤホンの導入で
誰一人取り残さない窓口対応を



谷内 伸江 議員



問 草刈機や雑草対策用具の無償貸出し制度などは考えていないか

答 今後、他市町村の導入状況を調査し、本市にとって必要な制度が研究する。



雑草が繁茂している様子

雑草等対策について



齊藤 秀樹 議員





生物多様性にむけて
市民ができること

問 生物多様性の保全に向けて一人ひとりができる事を市はどう考えるか

答 身近な自然に関心を持ち、環境に配慮した行動を心がける事が重要。外来種を野外に放さない、地域の自然を守る活動に参加する、資源を無駄なく使い廃棄物を減らすなど、日常の中でできることは多くある。

問 現代社会で生きる市民においてはデメリットと感じるのでは

答 環境に配慮した行動は環境保全に貢献するだけでなく達成感や地域とのつながりを感じられる。また、暮らしに充実感をもたらす、生活の質の向上につながる。

様々な生きものがいて、
つながっていることをいいます。
生きものがすみ場所がたくさんあるという
「生態系の多様性」、
様々な生きものがいるという
「種の多様性」、
同じ種内でも多様な個性があるという
「遺伝子の多様性」
の3つの多様性があるとしています。
オーガニックなまちづくり
アクションプランより抜粋



遺児福祉基金の活用を促進し、
遺児手当支給額の増額を

問 昭和61年に創設された「交通遺児福祉基金」は、平成25年の議会質問提案により翌年度「遺児福祉基金」に改正され、手当の対象を交通遺児に限らず、一般遺児（自死遺児・災害遺児・病死遺児等）に拡大されたが、支給額は現在まで同額のままである。

答 「ふるさと応援寄附金」による基金残高の増加や、昨今の物価高も鑑み支給額を今こそ増額すべきではないか

答 長引く物価高騰等の影響を考慮すると、支給額を見直す時期と考える。

問 時期はいつ頃を想定しているか

答 令和8年度の支給分から増額できるよう進めたい。

遺児手当制度	
木更津市では遺児の福祉の増進を図り、保護者の負担を軽減するため遺児手当を支給しています。	
支給対象者	
・義務教育終了前及び高等学校に在学中の者の保護者で本市に住所を有する者。 ・父または母が死亡し、又は精神、身体に著しい障害を有することとなったものであること。 ・受給者が児童扶養手当を受給していること。	
【支給額】	
支給区分	支給月額
乳幼児	5,000円
小学生	6,000円
中学生	7,000円
高校生	8,000円



公益通報者を保護する
体制かを検証
通報対象者・窓口・周知は

問 兵庫県で問題になったが、木更津市内部通報の現要綱では、市長へ報告を義務付け、市長が調査の要否判断。

答 今後は調査体制の見直しを図る。

問 法改正があり、内部通報者の範囲拡大(表参照)。対象者への周知は

答 要綱を見直し、内部研修をする。

問 企業等に勤務の場合、勤務先以外への通報は外部通報だが、相談窓口は

答 市民協働部地域共生推進課。

問 今後は

答 要綱改正、悩み相談窓口一覧等に掲載検討。対応マニュアル作成。

公益(内部)通報 - 勤務先(木更津市の不正行為や法令違反を内部相談窓口)に通報	内部通報相談窓口
内部通報できる対象者 地方公務員法に規定の一般職職員 任期付職員 会計年度任用職員 現在の要綱 木更津市を退職1年以内の職員 市の業務を担う派遣職員 指定管理施設で働く職員 法改正により 木更津市の要綱を見直す 市が委託した事業で働く職員 フリーランス 市の業務委託関係期間および終了後1年以内	木更津市 総務部 職員課
公益(外部)通報 - 自分の勤務先の法令違反行為を外部に通報	外部通報相談窓口
業務委託関係のフリーランスと 業務委託終了後1年以内のフリーランス	木更津市民協働部 地域共生推進課



今こそ木更津市は独自に
農業者への支援をすべきである

問 高温、渇水、斑点米カメムシ類による木更津市の米作りへの被害の現状を把握しているか

答 個別に情報が寄せられている。今後も詳細な情報の把握に努めていく。

問 野菜農家の被害の見込みはどうか

答 県からはトウモロコシの生育不良やインゲンの葉焼けや実がならないなどの被害があると聞いている。

問 農業者への支援は

答 国は補助事業を拡充させている。

問 木更津市独自の支援は

答 現状では独自の支援は考えていない。被害状況を把握し、必要な支援を研究する。

自治体によるカメムシ類の被害への独自支援例
○非ネオニコチノイド系 薬剤購入費の50%以内
○他の病害虫防除薬剤 購入費の20%以内
○耕地面積5ha未満 10a当たり1,000円
○耕地面積5ha以上 一律50,000円



本市の保育状況について

問 現在の待機児童の状況は

答 平成28年度の92名をピークに減少し、令和7年度は14名である。

問 認可保育施設の設置状況は

答 平成28年度と比較し13施設増加して、現在は合計30施設である。

問 新たな施設の設置予定は

答 令和8年度から八幡台幼稚園で0歳から2歳児、令和9年度から高柳幼稚園で1歳児の受入れを開始予定である。

問 保護者が保育に対して、苦情や相談ができる窓口は

答 各保育園に苦情相談窓口が設置されている。また、市役所のことも保育課でも受けている。



中野畑沢線貝淵工区の用地購入は何時から始めるのか

問 桜井工区の本体工事が着手されたので、来年度から貝淵工区の用地購入が始まるか

答 令和9年度から開始される第4次基本計画に盛り込み計画的に進めたい。

問 基本計画に盛り込まなければ予算確保ができないのか

答 設計・用地取得・工事を二連で実施するため計画的に予算を確保する。

問 土地開発公社が土地を購入し、市が道路事業と認可され国の交付金を受けて買い取ることが負担を減らす方法なので、公社を活用すべきでは

答 有効な手段だと認識しているが過去の状況を踏まえた調整が必要と考えている。



貝淵工区の状況（一部取得済み）



改正鳥獣保護管理法が施行市街地へ有害獣出没の対策は

問 木更津市でもイノシシ等の出没案件が急増している。法の主な改正点は

答 銃猟が禁止されていた市街地で、緊急時に限り市町村長の判断で銃猟の実施が可能となった。

問 緊急銃猟は市職員のみに対応か

答 県職員は県知事に応援を求められる。警察官は出動協力を得られる。

問 緊急銃猟の訓練は実施するか

答 実施出来るよう、取り組む。

問 緊急銃猟の判断は市町村長が判断とあるが、実際には誰が判断するか

答 市長から担当者へ権限を委任するための規程整備や運用方法について取り組む。



住宅地へ出没したイノシシ



子どもを安心して預けられる仕組みづくり

問 木更津市の保育行政の現在の課題は

答 小規模保育園は育児休業後の受け皿として重要であるが、卒園後の進級先不足や転園負担が課題である。認可外保育施設も一定の役割を担っており、保育料助成はあるものの、卒園児の入園加算制度は整っており改善が求められている。全体として保育士不足が大きな課題であり、待遇改善や人材確保に取り組んでいる。さらに「こども誰でも通園制度の開始に向け、市は条例整備や周知を進め、安心して子育てできる環境づくりを目指している。」



いよいよスタート！



健康寿命延伸に向けて

問 本市の健康寿命の現状は

答 男性が79・8歳、女性が84・0歳と延伸傾向はあるが、国、県の数値よりは若干下回る。

問 医療費の推移は

答 国民健康保険については加入者減により、総額では減少しているが、一人当りが増加。後期高齢者医療保険については総額・一人当たりともに増加傾向で、今後増える見込み。

問 課題は

答 肥満対策とがん検診の受診率を喫緊の課題と捉え、生活習慣の改善や社会参加の促進に取り組んでいく。



議員会の活動

木更津市議会には、議員相互の親睦、向上を図ることを目的とし、全議員で構成する議員会があります。

研修会の実施

4月21日 水道事業について

かずさ水道広域連合企業団を講師に、水道事業について学びました。この企業団は、4市が合併して事業を行っています。合併当初、10年間の値上げ額や時期のタイムチャートを作っていたが、当時は想定していなかった自然災害や物価高騰により、そのタイムチャートでは困難なことがわかり、今後、再度練り直すと説明がありました。また、老朽管の取り換えは、地震に強いもので順次、計画通りに行っていることを知りました。



7月24日 庁内における基幹系および情報系システムの運用

総務部情報経営課の職員を講師に、2021年10月からの情報基幹システムについて、学びました。とても難しい情報システムの仕組みやセキュリティを、わかりやすく説明いただきました。



議員5人以上で結成し、調査・研究活動できる部会

4月8日 「開発行為等に関する環境問題を考える会」の活動報告会

開発行為等の問題を地域で抱えている議員有志の部会で、開発行為等で指導中の案件の現状と課題を洗い出しました。他市の条例等も参考に調査研究し、事後の対策強化だけでなく、未然に防ぐことを重点に置いた条例改正が必要であるという結論に至ったことを、議員会で報告しました。



次回12月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				11/27 本会議 (開会)	28	29
30	12/1	2	3	4	5	6
		本 会 議 (一 般 質 問)				
7	8	9 総務 常任委員会	10 教育民生 常任委員会	11 建設経済 常任委員会	12	13
14	15	16	17	18 本会議 (議案審議) (閉会)	19	20

9月定例会の傍聴者は延べ55名でした。
12月定例会の特別委員会の開催日時は現在未定です。
詳しくは、議会事務局(電話 23-7185)へお問い合わせください。

●声の市議会だよりについて

視覚障がい者を対象に市議会だよりを録音したCDを貸し出しています。また、市議会ホームページからも「声の市議会だより」をお聞かせいただけます。

●本会議のインターネット中継について

本会議の映像(生中継及び録画中継)をインターネットでもご覧いただけます。



URL: <https://www.city.kisarazu.lg.jp/gyoseijoho/shigikai/eizouhaishin/8048.html>

里山の自然で育まれる『幸せに生き抜く力』

泥んこ田んぼが遊び場に

市内上烏田の休耕田を活用した「カリコミーランド」で、地域のボランティアと子ども達と一緒に楽しむ体験会「泥リンピック」が開催されました。泥だらけになりながら駆け回る姿は笑顔に溢れ、里山の中で思い切り遊ぶ楽しさが広がっていました。



泥んこ田んぼが遊び場に

自由に挑戦できる居場所

カリコミーランドが目指すのは、子ども達が“幸せに生き抜く力”を育む事です。強い者や賢い者ではなく『予測できない未来の環境変化に対応できる者が生き残る事が出来る』そんな考えのもと禁止事項を無くし「自分の責任で自由に遊ぶ」事を基本としています。

『何をしてもいい。何もしなくてもいい。君は君のままでもいいんだよ』そう語るのは代表の堀切辰也さん。



泥んこ田んぼを耕す堀切代表

大人は見守り、背中で伝える

大人の役割も特徴的です。リスクを想定し危険要因を排除しつつ、手出しや口出しはしません。子ども達の自由な挑戦を尊重します。そして大人自身が楽しむ姿を見せる事。それが子ども達にとって大きな学びです。運営スタッフは6名で、泥んこスラックラインや泥んこフラッグ等ユニークな遊びを支えていました。

体験から学ぶ“生き抜く力”

今後の取組として、11月22日(土)、23日(日)に八幡台公民館で「U-15防災&ビジネスキャンプ」を開催予定。スマホやゲームを離れ、電気や水道のない暮らしを想定し「どう生き抜くか」を学びます。『幸せに生き抜く力の一つ「お金」についても考える機会としたい。地域のまちづくり協議会、波岡こども食堂、カリコミーランドが連携運営し“顔見知りの繋がりが非常時のセーフティネットになる”』そう熱く語る代表の言葉が印象的でした。



泥んこのあとは極楽トラム缶風呂



カリコミーランド
Instagram
代表：堀切辰也
090-9102-3147

市議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしています

広報委員会は、市民目線に立って「読みやすい、親しみやすい」紙面づくりを目指しており、**スマートフォンからご意見・ご感想を送れるようにいたしました。**(右図参照)

なお、従来通り電話、FAX、メール、郵送での送付も受付いたします。

電話) 0438-23-7185 FAX) 0438-22-4734

メール) gikai@city.kisarazu.lg.jp

住所) 〒292-8501

木更津市富士見1-2-1 市議会事務局 宛

こちら編集会議

市民の活動を取材すると、言葉や写真だけでは伝えきれない魅力に出逢えます。少しでもその思いを紙面に映し出せるよう、委員会一同努めてまいります。

木更津市議会広報委員会 ◎委員長 ○副委員長

◎佐藤 修一 ○田中 紀子 吉田真紀人
吾津松太郎 松井 晃治 藤田 真澄

スマートフォンでの ご意見・ご感想の送付手順



①上記のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取る。

②画面に表示されたリンク先をタップ。

③簡単な設問に回答。
(自由記述できる欄もあります)

④「確認画面へ進む」をタップ。

⑤記載内容を確認したら、「送信」をタップ。

※いただいたご意見等は、市議会だよりに掲載する場合があります。